

2012年UNCCAアンケート（個人会員用）集計結果

回答数 18

UNCCAからのコメント

1. UNCCAについて

1) UNCCAに入会されて、地球温暖化への知識は深まりましたか。

1	とても深まった	7	38.9%	} 88.9%	→ ・良好
2	深まった	9	50.0%		
3	変わらない	1	5.6%		
*	無回答	1	5.6%		

2) UNCCAに入会されて、日常生活などで地球温暖化対策を行うようになりましただか。

1	行うようになった	9	50.0%	} 88.9%	→ ・良好
2	ときどきは行うようになった	7	38.9%		
3	変わらない	1	5.6%		
*	無回答	1	5.6%		

3) UNCCAのHPの閲覧頻度について。

1	月に1度以上	6	33.3%	} 66.7%	→ ・トップページにカウンターを設置
2	数か月に1度くらい	5	27.8%		
3	半年に1度くらい	2	11.1%		
4	ほとんど見ない	2	11.1%		
5	見たことが無い	3	16.7%		

4) UNCCAからお送りするメールの量について。

1	多い	0	0.0%	→ ・良好
2	ちょうどいい	14	77.8%	
3	少ない	2	11.1%	
*	無回答	2	11.1%	

5) UNCCAが発信するメールはどの程度読まれていますか。

1	届いていない	1	5.6%	} 83.3%	→ ・要留意 → ・概ね満足できる
2	本文・添付ファイルすべて	8	44.4%		
3	メール本文すべて	6	33.3%		
4	添付ファイルのみ	0	0.0%		
5	興味のあるところのみ	1	5.6%	→ ・要留意	
6	殆ど読まない	0	0.0%		
7	全く読まない	1	5.6%		
*	無回答	1	5.6%		

6) UNCCAが開催するイベントの広報は充分ですか。

1	充分	13	72.2%	→ ・概ね満足できる
2	不充分	4	22.2%	→ ・FAXのみの会員へ情報提供を密にする
*	無回答	1	5.6%	

7) UNCCAのイベント参加について。(重複回答可)

1	参加したことがある	17		→ ・良好
2	参加してみたい	3		
3	興味ない	0		

8) イベント開催はいつが望ましいですか。(重複回答可)

1	土曜日	12	
2	日曜日・祝祭日	7	
3	平日	1	

9) UNCCAの活動を広めるために良い方法があれば教えてください。

・ 地区毎の活動ができる支援が必要	→	・要留意
・ 新聞に活動状況をもっと掲載してもらう		
・ 広報うべやサンデーうべ、等のメディアの活用		
・ ポスターを作成し、目に付くところに貼る。		
・ 若い人、特に大学生に教育する	→	・要留意

- 10) UNCCAは今後どのような活動をすべきだと思いますか。(重複回答可) → ・要配慮
- | | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 省エネ診断・相談 | 5 |
| 2 | 省エネ・環境教育 | 11 |
| 3 | イベントによる啓発 | 11 |
| 4 | 自転車・公共交通の普及 | 10 |
| 5 | 植樹、グリーン電力証書によるカーボン・オフセット | 6 |

その他

- ・ 太陽光発電など自然エネルギーの活用方法等新技術の紹介・推進

- 11) UNCCAの会員を増やすのに効果的な方法があれば教えてください → ・要配慮
- ・ イベントへのお誘いを種々の広報活動で進める
 - ・ 環境関連規格を取得している団体に働きかける
 - ・ 市内における各校区自治会連合会(衛生連合会/婦人部)への懇談会(説明会)等を実施しては
 - ・ 小中学校PTAや校区ふれあいセンター・自治会への呼び掛け
 - ・ 会員が得することをつくる。
 - ・ 企業、官庁等に、機会あるごとに勧誘する

- 12) その他、UNCCAになにか提言があればお願い致します → ・要配慮
- ・ 活動がマンネリ化しないように他所での活動事例を参考にする
 - ・ 民間の意識改革が重要な位置にあるということを、もう一息強く発信すべき。UNCCAの各種行事に参加している方々は十分に意識改革はなされていると考えられることもあるので、むしろ周囲の方への発信をお願いすることを繰り返し繰り返し行うべきかも。
 - ・ ご家庭の婦人層へのサークル活動の立上を計画(家庭でのエネルギー総監督はご婦人である。) **上記は宇部市地球温暖化対策ネットワークは官/学/民(企業)に地域市民(新規)を取込む目的**
 - ・ 活動内容や、地球温暖化、等に関連する映画やテレビ放映、等を紹介してください。また、場所を借りて映写会などしたら如何？

2. 地球温暖化について

- 1) この100年間に地球の平均温度は0.74℃上昇しました。このまま進むと2100年に地球の平均気温は6.4℃上昇する。(IPCC第4次報告書)

1	知っていた	12	66.7%	→ ・要留意
2	知らなかった	6	33.3%	
*	無回答	0	0.0%	

- 2) 地球温暖化の原因といわれている大気中の二酸化炭素(以下CO2と表記)濃度は産業革命前の280ppmから100ppm上昇し、そのカーブは地球の平均気温の上昇カーブと整合している。

1	知っていた	14	77.8%	→ ・要留意
2	知らなかった	4	22.2%	
*	無回答	0	0.0%	

- 3) 2009年度世界全体のCO2排出量は290億トン。日本のCO2排出量は中国(23.1%)米国(17.9%)インド(5.5%)ロシア(5.3%)に次いで3.8%で5番目に多い。

1	知っていた	13	72.2%	→ ・要留意
2	知らなかった	5	27.8%	
*	無回答	0	0.0%	

- 4) 右図の1990年～2009年の部門別のCO2排出量をみると、家庭生活にかかわる部門(家庭部門・運輸部門)が増加している。

1	知っていた	16	88.9%	→ ・良好
2	知らなかった	2	11.1%	
*	無回答	0	0.0%	

3. 「家庭ですぐ出来る冬の取り組み21」のうち、実行しているもの(実行数の多い物順に並べ替え)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 食器洗いでお湯を出しっぱなしにしない 	16	TOP 5	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 重ね着などによりあたたかくする 	15		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房時にカーテンやブラインドを閉める 	14		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくす 	14		
<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビを見る時間を少なくする(つけっぱなしにしない、見る番組を絞る) 	14		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 室温を低めにし、こたつや電気カーペットなど効率のよい部分暖房を活用する 	13	<p>・ちょっとした工夫で省エネにつながるものを強調していく</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 床に断熱シートやカーペットを敷く 	12		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明を使う時間を可能なかぎり短くする 	12		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保温便座の温度設定を下げ、使わないときには保温便座のふたを閉める 	11		
<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブを実践する 	11		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房の温度設定を控えめ(目安は20℃)にする 	10		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房の使用時間を可能なかぎり短くする(外出30分前に消すなど) 	9		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気ポットや炊飯ジャー保温をやめる 	9		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 湯たんぽ、ひざかけなどを活用する 	8		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力鍋などの活用により調理時間を短くする 	8		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族が続けて入り風呂の追い炊きをしない 	8		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓に空気層のある断熱シートを貼る 	5		BOTTOM 5
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒冷地以外の地域では、ストーブ・ファンヒーターではなくエアコンで暖房する 	5		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水シャワーヘッドを取り付け、使うお湯の量を減らす 	5		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 扇風機などを使い、天井付近の温かい空気を室内に循環させる 	4		
<ul style="list-style-type: none"> ・ すき間テープなどを活用してすき間風を防ぐ 	3		

2012年UNCCAアンケート（団体会員用）集計結果

回答数 22

UNCCAからのコメント

2) UNCCAのイベントにご協力いただけますか。

1	ぜひ協力したい	3	13.6%
2	協力してもよい	15	68.2%
3	不可	4	18.2%

団体名(敬称略・順不同)

- 1
- ・株式会社バイタルリード
 - ・宇部興産株式会社 宇部渉外部
 - ・宇部市環境衛生連合会

- 2
- ・宇部市ガス水道局 ガス事業部
 - ・宇部市ガス水道局 水道事業部
 - ・エムシー・ファーティコム(株) 宇部工場
 - ・宇部興産株式会社 建設資材カンパニー 技術開発研究所
 - ・宇部興産株式会社 宇部セメント工場
 - ・宇部市楠総合支所
 - ・山口大学環境共生(環境設計G)
 - ・(地独)山口県産業技術センター
 - ・中国電力株式会社 宇部営業所
 - ・ユーエムジー・エービーエス株式会社
 - ・ルネサス セミコンダクタ九州・山口(株)山口工場
 - ・宇部アンモニア工業有限公司
 - ・宇部市自転車商協同組合
 - ・宇部市消費者の会
 - ・宇部市交通局

3) 所属する団体のメンバーには、UNCCAからのお知らせをどのように伝達していますか。 (複数回答可)

1	口頭	3	13.6%
2	電話	0	0.0%
3	FAX	0	0.0%
4	メール	14	63.6%
5	印刷して配布	3	13.6%
6	伝達しない	1	4.5%
7	その他	6	27.3%

- ・社内掲示板に掲示
- ・社内HPに掲載
- ・添付資料などのイベント情報
- ・役員会、総会
- ・印刷して回覧

→ 要留意

4) その他、団体としてUNCCAになにか提言があればお願い致します

- ・環境対策は息の長い取組が必要で、現在取り組まれている内容を継続的に実施し、徐々に拡大されることが重要だと考えます。弊社はご協力させて頂ける部分について引き続き協働で取り組ませていただきたいと思います。
- ・スマート通勤普及拡大の取組について、すぐに実施可能で効果が期待でき、尚且つイニシャルおよびランニングコストが低い(或いはかからない)ような事例があればメールマガジンなどで積極的に紹介してほしい。

→ 要配慮

2012年UNCCAアンケート（団体会員配布用）集計結果

回答数 322

UNCCAからのコメント

1) あなたが所属する団体がUNCCAの会員になっていることをご存知ですか。

1	知らない	177	55.0%
2	知っている	144	44.7%
*	無回答	1	0.3%

→ ・要Action

2) UNCCAを何でお知りになりましたか。

1	UNCCAのHP	6	1.9%
2	市のHP	10	3.1%
3	FMきららの放送・冊子	6	1.9%
4	宇部日報・サンデーうべ	9	2.8%
5	イベントのちらし	35	10.9%
6	貴団体のUNCCA窓口担当者からのメール・ちらし等	102	31.7%
7	その他	12	3.7%
*	無回答	142	44.1%

※ 1)で“知らない”を選択した方(177人)は2)～5)は、殆どが“知らない”または“無回答”となっている

3) 何をする団体か知っていますか。

1	よく知っている	48	14.9%
2	まあまあ知っている	109	33.9%
3	知らない	24	7.5%
*	無回答	141	43.8%

4) 具体的にどのような活動をしているか知っていますか。

1	よく知っている	39	12.1%
2	まあまあ知っている	97	30.1%
3	知らない	44	13.7%
*	無回答	142	44.1%

5) UNCCAのHPの閲覧頻度について。

1	月に1度以上	17	5.3%
2	数か月に1度くらい	44	13.7%
3	半年に1度くらい	26	8.1%
4	殆ど見ない	49	15.2%
5	見たことがない	44	13.7%
*	無回答	142	44.1%

6) UNCCAが発信するメールはどの程度読まれていますか。

1	届いていない	46	14.3%
2	本文・添付ファイルすべて	40	12.4%
3	メール本文すべて	16	5.0%
4	添付ファイルのみ	22	6.8%
5	興味のあるところのみ	63	19.6%
6	殆ど読まない	48	14.9%
7	全く読まない	47	14.6%
*	無回答	40	12.4%

→ ・要改善
(担当者へお願い)

→ ・要留意

7) UNCCAが開催するイベントの広報は充分ですか。

1	充分	141	43.8%
2	不充分	148	46.0%
*	無回答	33	10.2%

→ ・要改善

8) UNCCAのイベント参加について。(重複回答可)

1	参加したことがある	43	
2	参加してみたい	120	
3	興味ない	137	

→ ・要留意

9) イベント開催はいつが望ましいですか。(重複回答可)

1	土曜日	106	
2	日曜日・祝祭日	132	
3	平日	74	

→ ・要配慮

10) UNCCAの活動を広めるために良い方法があれば教えてください。 → 要検討

広報関連

- ・ 広報等でPR
- ・ Webやソーシャルネットワークを活用して情報発信すると良いと思います。
- ・ ホームページ・携帯サイト
- ・ 身近に知られていない、広報が弱い
- ・ 今のような地道なPRにより理解する人の輪を増やしていくべきだと思います
- ・ テレビやラジオが一番一般の人の目や耳に入ってくる情報源だと思います。
- ・ テレビ(ローカルニュース)などで放送する(イベント情報や活動目的などを)
- ・ TVCM
- ・ メールは使用しないので会社で広報を配布しては?
- ・ UNCCAというネットワークがあるということをもっとPRする
- ・ 事務所の一部を市役所の1Fに置き、充分広告活動を行う
- ・ 地球温暖化への具体的な一人一人ができる活動を実行している人の活動報告を発信する
- ・ 何をやってるのかわかるようにする(分かりやすいようにする)

メリットを強調

- ・ 実利的なテーマ. 貨幣価値だけでなく、健康とか、とっつきやすいもの
- ・ 知って得するなど、何かメリットがあると良い
- ・ 劇的に改善できた事例などを紹介する。
- ・ 活動の効果をPR

イベント関連

- ・ 子供の夏休みの工作につながる省エネのテーマなら、まだまだ、広がる余地があるのではないかな。
- ・ 教室開催で学びの場を作る
- ・ 有名著名な先生方による講演会の開催
- ・ 環境セミナーを企業内で実施する
- ・ 社員の強制参加によるイベントの開催
- ・ 社内でイベントを行うなど、活動内容を体験させる。
- ・ 説明会の実施
- ・ 多くの人に参加できるイベントを実施する
- ・ 省エネを家庭単位で競うイベントを開く
- ・ 自治会や小学校などと共同で活動する

UNCCAの名称・イメージキャラクターについて

- ・ UNCCAと言われても何の団体かのイメージも沸きにくいいため、名称変更を検討してはどうでしょうか
- ・ UNCCAのカタカナ読み表記のほうが覚えやすい
- ・ イメージキャラクター(ゆるきゃらではなくアニメの女の子)が情報を発信して、そのキャラクターのファンをつくる(ある自治体で効果をあげている)。

その他

- ・ 企業・団体訪問による会員獲得(訪問活動は必然的にPR活動になるかと思いますが)
- ・ 原発に頼らないやさしい電気の使い方を伝授
- ・ 会員を増やすことに尽きるのではないのでしょうか。企業が少なすぎると思います。高校と中学校も全校加盟するよう働きかけては。自治会単位での加盟も見られませんか。
- ・ ノーカーデーのように、企業に「ノー残業デー」(できる範囲での協力)設定の協力を呼びかけてはどうでしょうか?
- ・ 初心者でも理解できるような基本的な部分を冊子にして個人にも配布すると良い。

11) UNCCAは今後どのような活動をすべきだと思いますか。(重複回答可) → 要配慮

- | | | |
|---|-----------|-----|
| 1 | 省エネ診断・相談 | 64 |
| 2 | 省エネ・環境教育 | 112 |
| 3 | イベントによる啓発 | 85 |

4	自転車・公共交通の普及	115
5	植樹、グリーン電力証書によるカーボン・オフセット	30

その他

- ・ 法人化(資金獲得に有利と思われるため)
- ・ エコ通勤とセットのマイカー通勤抑制の強化
- ・ 低炭素都市構築のためのコンパクトシティに向けた取り組み
- ・ 県地球温暖化防止活動推進センターの指定への調査活動(予防保健協会からの指定替可能性の検討)
- ・ 省エネや環境問題を難しい感じではなく、親子参加型など楽しく参加できる工夫をしてもっと身近に手軽にできるエコ活動の普及をはかるといいのでは？

12) UNCCAの会員を増やすのに効果的な方法があれば教えてください → 要検討 広報関連

- ・ 訪問活動を繰り返す
- ・ 活動内容を周知する方法(広報、イベントでの周知等)を工夫すれば増えるのではと思います。
- ・ 自治会への、啓発不足
- ・ もう既にされているかもしれませんが、新聞などの媒体を通じて活動を広く一般市民にも知っていただく
- ・ 10の公会堂をTVで放映する
- ・ ビラ配り
- ・ 日常生活等身近に役に立つ情報を発信
- ・ TVCM
- ・ CM
- ・ 活動イメージのPR
- ・ 職場にて活動状況を積極的に説明
- ・ 活動の意義を地道に伝える
- ・ 活動内容の意義を広める。会員表の配布、掲示

イベント関連

- ・ 既に取り組まれていると思いますが、環境イベントなど、環境に関心の高い方々が集まる集会で会員募集を行うことが効果的だと思います。
- ・ イベント活動を積極的に行う

メリットを強調

- ・ 実利的なテーマ。貨幣価値だけでなく、健康とか、とっつきやすいもの
- ・ 会員になったら一般の個人とどう違いがあるのかなどわからないので、きちんと伝えていく。(会員でないと参加できないのですか?)
- ・ 会員になることのメリットが何かをもっとアピールする
- ・ 会員特典の充実
- ・ 法人会員特典を付ける(公共工事や購買案件の入札時にポイント加算するなど)
- ・ 省エネ相談をするので会員になりませんか? 省エネテクニックの冊子を応募した人(会員)に配る等
- ・ ポイント制、特典を付与した会員証の発行など、会員のメリットを明確にする。

その他

- ・ マスコット(ぬいぐるみ)等による、街頭声掛け運動
- ・ イメージキャラクター(女の子)を育てる
- ・ 学生・若者対応が必要
- ・ 小中学校教育にその思想を取り入れる
- ・ 個人で登録をする

13) その他、UNCCAになにか提言があればお願い致します → 要配慮 スポンサーの獲得について

- ・ 資金獲得のための専門の部会・担当者を設置する。
- ・ 大口スポンサーを獲得する。
- ・ スポンサーが見込める事業の実施(バス・JR等、中心市街地の活性化では商工会議所や小売店等)

UNCCAの名称・イメージキャラクターについて

- ・ 親しみの湧くようなネーミングにしては？「UNCCA」では初めての人にはさっぱりわからないし、興味は湧かないと思う。
- ・ 「UNCCA」などイニシャルにすると、類似の団体が多く、分かりにくい。
- ・ 名称を地球温暖化の字句を「気候変動」に変更されることを提言します。IPCCに倣って。地球温暖化対策＝温室効果ガス削減＝CO2削減という図式が世の中では認識されているが、CO2削減はある程度の水準で目標（達成の目標ではなく実施の目標）をクリアしているのでは、と思います。これからは目先のCO2を減らせば対策をした気持ちという錯覚ではなく、グローバルな気候変動を視野に入れて活動すべきと思います。IPCCの活動も温室効果ガスの削減が主とは思いますが、目指すところは気候変動対策のはずだと思うからです。

その他

- ・ 地球温暖化や環境汚染、食糧危機など人類の将来を危惧する問題は山ほどあります。スケールが大きすぎてなかなか身近な問題として伝わらない危機感をどうにかして身近な問題に置き換えてわかりやすく一般の人に伝える努力をしてほしい。ほとんどの方が「このままでは危ない」「いつか何かが起こる」という漠然とした不安感を持っていると思いますが、漠然としすぎて具体的に行動することが出来ないと思います。節電や省エネも大事ですが、日本ほど食料自給率が低いのに飽食して無駄に捨てている国はないと思います。飲食業界（企業から町の定食屋さんまで）に幅広く「捨てない」「客に残させない」営業活動を、また利用する一般の人に「残さない」意識をもっと強く提言して欲しい。1粒のお米のありがたさをもっと真剣に感じられるようになって欲しいと思います。
- ・ 宇部市の保健事業と共同で活動を行うことで、CO2排出量低減活動は健康に大いに役立つことをよりPRでき、急を要さない移動でマイカーを使うことが少しでも減るのではないかと考えています。
- ・ エコカーに対しては、他県では駐車料金の割引をするところがあるそうですが、宇部市内には、同様などところがあるか、または、予定がありますか？
- ・ 一般企業向けにも環境に関する出前講座等を積極的に行ってほしい
- ・ 地球温暖化への具体的な一人一人ができる活動を実行している人の活動報告を発信する
- ・ 市民資金で「太陽光発電」設置など、個々の小さな資力を大きくできればと思いますが…
- ・ メールによる啓発に期待しています
- ・ ラッシュ時に各方面～沖の山への直通バスを出してはどうか？(便利になれば使う人が増えるかと思っています)
- ・ 電力会社と共同でイベントを行い、家庭においての省エネを進める
- ・ ネットワークがあること自体知りませんでした。認知度を上げるべきでは？
- ・ 自転車通勤の普及に期待しています。
- ・ 団体で会員になっている場合、末端の個人には会員としての認識が無い。ニュースなどで多少の知識はあっても、細かく質問されても答えられない。(アンケートの内容が難しい)
- ・ 会社ではUNCCAの窓口担当者からのメールでイベントの情報がわかるが、一般家庭では個人用のパソコンでUNCCAのHP及び市のHPを開いてみることは殆ど無いので家庭に情報が入っていないのでは。もっと家庭に密着した市広報・自治会会報等の情報媒体を活用されてUNCCAの活動をアピールしてはいかがでしょうか。

2. 地球温暖化について

1) この100年間に地球の平均温度は0.74℃上昇しました。このまま進むと2100年に地球の平均気温は6.4℃上昇する。(IPCC第4次報告書)

1	知っていた	143	44.4%	→ ・要留意
2	知らなかった	175	54.3%	
*	無回答	4	1.2%	

2) 地球温暖化の原因といわれている大気中の二酸化炭素(以下CO2と表記)濃度は産業革命前の280ppmから100ppm上昇し、そのカーブは地球の平均気温の上昇カーブと整合している。

1	知っていた	121	37.6%	→ ・要留意
2	知らなかった	197	61.2%	
*	無回答	4	1.2%	

3) 2009年度世界全体のCO2排出量は290億トン。日本のCO2排出量は中国(23.1%)米国(17.9%)インド(5.5%)ロシア(5.3%)に次いで3.8%で5番目に多い。

1	知っていた	147	45.7%	
2	知らなかった	171	53.1%	→ ・要留意
*	無回答	4	1.2%	

4) 右図の1990年～2009年の部門別のCO2排出量をみると、家庭生活にかかわる部門(家庭部門・運輸部門)が増加している。

1	知っていた	132	41.0%	
2	知らなかった	183	56.8%	→ ・要留意
*	無回答	7	2.2%	

3. 「家庭ですぐ出来る冬の取り組み21」のうち、実行しているもの(実行数の多い物順に並べ替え)

・ 重ね着などによりあたたかくする	208	TOP 5
・ 暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする	208	
・ 暖房時にカーテンやブラインドを閉める	206	
・ エコドライブを実践する	154	
・ 室温を低めにし、こたつや電気カーペットなど効率のよい部分暖房を活用する	151	
・ 食器洗いでお湯を出しっぱなしにしない	148	
・ 照明を使う時間を可能なかぎり短くする	137	
・ 暖房の温度設定を控えめ(目安は20℃)にする	135	
・ 保温便座の温度設定を下げ、使わないときには保温便座のふたを閉める	129	→ ・ちょっとした工夫で省エネにつながるものを強調していく
・ 床に断熱シートやカーペットを敷く	127	
・ 電気ポットや炊飯ジャー保温をやめる	125	
・ テレビを見る時間を少なくする(つけっぱなしにしない、見る番組を絞る)	123	
・ 家族が続けて入り風呂の追い炊きをしない	119	
・ 暖房の使用時間を可能なかぎり短くする(外出30分前に消すなど)	105	
・ 湯たんぽ、ひざかけなどを活用する	81	
・ 寒冷地以外の地域では、ストーブ・ファンヒーターではなくエアコンで暖房する	74	
・ すき間テープなどを活用してすき間風を防ぐ	65	BOTTOM 5
・ 窓に空気層のある断熱シートを貼る	49	・ 一手間必要なものや、別途支出が必要なものが下位の傾向にある。
・ 圧力鍋などの活用により調理時間を短くする	42	
・ 扇風機などを使い、天井付近の温かい空気を室内に循環させる	37	
・ 節水シャワーヘッドを取り付け、使うお湯の量を減らす	33	